

令和4年3月4日

各報道機関 御中



「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」
シンポジウムの開催について

平成29年9月に文部科学省から「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の採択(5年間)を受け、山梨大学、山梨県、企業が協働で「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」事業を実施しております。

最終年度を向かえ、これまでの本事業の取り組み及び今後の事業化計画等を広く社会に発信するため、シンポジウムを開催いたします。

つきましては、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、取材および貴報道枠でのご紹介をよろしくお願いいたします。

記

日時：令和4年3月9日(水) 14:00～17:30

場所：オンライン(ZOOM)開催 ※ 山梨大学甲府キャンパス 本部棟5階第一会議室より配信

備考：詳細は別添プログラムを参照下さい。

取材を希望されるマスコミ関係者の方は、13時45分までに直接会場(本部棟5階第一会議室)へお越し下さい。

※ 地域イノベーション・エコシステム形成プログラムとは

地域大学のコア技術等を核に、地域内外の人材や技術を取り込み、グローバル展開が可能な事業化計画を策定し、地域の成長と共に国富の増大に資する事業化プロジェクトを推進することにより、日本型イノベーション・エコシステムと地方創生を実現するものです。

※ 事業概要

本事業は、電極触媒、ガス拡散層(GDL)一体型金属セパレータ、触媒層付き電解質膜の製造など、山梨大学と地域に蓄積された燃料電池技術の強みを更に発展させ、新たな燃料電池スタック及びシステムを創出し、電源及び燃料電池自動車等への展開を図ります。

また、地域内外の企業と連携し、今後到来する水素社会に向けた事業化を推進します。事業化プロジェクトとして、① 電源用燃料電池システム事業、② 燃料電池自動車向け、GDL 一体型金属セパレータ供給事業、③ 新規の触媒層付き電解質膜製造装置事業、を実施しています。

(事業に関する問合せ先)

山梨大学 水素・燃料電池技術支援室
TEL: 055-254-7161

(広報担当)

山梨大学 総務部総務課広報企画室
TEL: 055-220-8005、8006
E-mail koho@yamanashi.ac.jp

文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム
水素社会に向けた「やまなし燃料電池バレー」の創成



2021 年度(令和 3 年度)

FCyFINE シンポジウム 2021

2022 年 3 月 9 日(水) 14 時 00 分～17 時 30 分
オンライン(ZOOM)開催

プログラム

1. 開会
2. あいさつ
 - (1) 山梨大学 学長 島田眞路
 - (2) 山梨県 産業労働部長 小林厚
 - (3) 文部科学省 拠点形成・地域振興室長 梅原弘史
3. 第1部 FCyFINE 実績(5年の成果)と今後の事業化計画
 - (1) FCyFINE の全体概要
 - (2) PJ1: 電源用燃料電池システム事業
 - (3) PJ2: ガス拡散層一体型金属セパレータ供給事業
 - (4) PJ3: 静電スプレー(ES)法による触媒層付き電解質膜(CCM)製造装置事業
 - (5) 基盤構築 PJ(人材養成・水素インフラ整備)
4. 第2部 講演
 - (1) 「地域エコシステムが拓く未来」
(国研)科学技術振興機構顧問東京工業大学名誉教授・元学長
相澤益男
 - (2) 「カーボンニュートラル実現に向けた水素・燃料電池の最新動向」
みずほR&T 米田雅一
5. 第3部:FCyFINE の継承
 - (1) 一般社団法人の設立と今後の活動計画 高野孫左エ門
FCyFINE PLUS 代表理事(株)吉字屋本店代表取締役社長)
6. 閉会